

# 伊藤ひろし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 防災体制・共生社会の構築

### 災害時、県・市町村間の連絡交信の強化を

命を守る・共生社会の構築に力をそめている伊藤ひろし県議(習志野市選出、1期)は、6月県議会一般質問に登壇し、防災対策や学校施設のバリアフリーの推進、県有施設の老朽化対策、道路交通の安全対策などについていただきました。伊藤県議の質疑と県試行部の答弁を紹介します。

#### ●防災対策

伊藤議員 近年千葉県でも地球温暖化により自然災害が発生しており、災害時に被害を軽減し、県民の生命、身体及び財産を守るためには、県と市町村が連携を密にし、迅速かつ円滑な対応を行っていく必要がある。

市町村間の情報通信基盤についても台風や地震などあらゆる災害時にも確実な連絡交信が行えることが重要ではないか。県では電話回線が利用できない場合など衛星系通信網である地域衛星

通信ネットワークを利用した防災行政無線を運用している。一方で市町村との情報通信基盤を、より強固で安定的なものとするのが重要であると考え。そこで、災害時における県と市町村との情報通信の確保にどのように取り組んでいるのか。

熊谷知事 県では、災害時における市町村、消防など防災関係機関との情報通信を確保するため、防災行政無線により県内を一体的に結び、気象情報の伝達や災害情報の収集を行うこととしています。現在、回線の二重化や非常用発電機により通信の確実性を高めているところですが、今年度



6月県議会一般質問に登壇した伊藤寛議員

#### 車イス利用生徒の進路選択の拡充

#### エレベーター設置推進を

#### ●高等学校のバリアフリー環境

伊藤議員 令和3年4月に施行されたバリアフリー法の改正に伴い、公立小中学校についてはバリアフリーの整備目標が定められた。高等学校はこの整備目標の対象外となっているが、私は全ての学校施設においてバリアフリー化がなされる

ることが重要だと考える。そこで何うが、県立高等学校におけるエレベーターの設置状況はどうか。また、設置を推進すべきと考えられているか。

佐々木教育次長 県教育委員会では、障がいのある生徒等も安心して学校生活を送ることが出来る環境づくりを進めているところです。県立高校のエレベーターについては、これまで、校舎の新築や改築時に併せて設置するとともに、車イスを使用するなど移動に配慮が必要な生徒等の状況に応じて設置してきたところで、本年3月末現在、14校に設置しています。さらに、配慮が必要な生徒が在籍する3校で実施設計を行っており、引き続き、学校の状況に応じた対応を図るとともに、今後は、長寿命化計画に基づく大規模改修工事の中で設置するなど、県立高校へのエレベーターの設置を進めてまいります。

要望 当事者の気持ちに寄り添っていただき、進路の選択肢が狭められることがないよう、エレベーターの設置に主体的に、意欲的に、能動的に、積極的に、迅速に進めていただくよう要望する。

伊藤議員 併せて、県内の私立高等学校におけるエレベーターの設置状況はどうか。県は設置推進に向けてどのように取り組んでいるのか。

鎌形総務部長 文部科学省の調査によると、令和2年5月時点で、県内私立学校59校のうち、エレベーターが設置されている学校は30校で、設置率50.8パーセントとなっています。私立学校において、エレベーターの設置など、バリアフリー化のための整備を行う場合、国の補助制度が活用可能です。県としては、引き続き、私立高校を設置する学校法人に対し、国の補助制度の周知を図るとともに、校舎の改築や改修の機会に併せて、エレベーターの設置を働きかけるなど、バリアフリー化の促進に努めてまいります。

要望 私立高校に対してエレベーター設置を働きかけていただき、車イスを利用しての高校受験生が進路の選択肢を狭められることがないよう、共生社会の構築を目指す千葉県としてエレベーター設置に向けて積極的に取り組むことを要望する。

通信ネットワークを利用した防災行政無線を運用している。一方で市町村との情報通信基盤を、より強固で安定的なものとするのが重要であると考え。そこで、災害時における県と市町村との情報通信の確保にどのように取り組んでいるのか。

熊谷知事 県では、災害時における市町村、消防など防災関係機関との情報通信を確保するため、防災行政無線により県内を一体的に結び、気象情報の伝達や災害情報の収集を行うこととしています。現在、回線の二重化や非常用発電機により通信の確実性を高めているところですが、今年度

伊藤議員 併せて、県内の私立高等学校におけるエレベーターの設置状況はどうか。県は設置推進に向けてどのように取り組んでいるのか。

鎌形総務部長 文部科学省の調査によると、令和2年5月時点で、県内私立学校59校のうち、エレベーターが設置されている学校は30校で、設置率50.8パーセントとなっています。私立学校において、エレベーターの設置など、バリアフリー化のための整備を行う場合、国の補助制度が活用可能です。県としては、引き続き、私立高校を設置する学校法人に対し、国の補助制度の周知を図るとともに、校舎の改築や改修の機会に併せて、エレベーターの設置を働きかけるなど、バリアフリー化の促進に努めてまいります。

要望 私立高校に対してエレベーター設置を働きかけていただき、車イスを利用しての高校受験生が進路の選択肢を狭められることがないよう、共生社会の構築を目指す千葉県としてエレベーター設置に向けて積極的に取り組むことを要望する。

伊藤議員 併せて、県内の私立高等学校におけるエレベーターの設置状況はどうか。県は設置推進に向けてどのように取り組んでいるのか。

鎌形総務部長 文部科学省の調査によると、令和2年5月時点で、県内私立学校59校のうち、エレベーターが設置されている学校は30校で、設置率50.8パーセントとなっています。私立学校において、エレベーターの設置など、バリアフリー化のための整備を行う場合、国の補助制度が活用可能です。県としては、引き続き、私立高校を設置する学校法人に対し、国の補助制度の周知を図るとともに、校舎の改築や改修の機会に併せて、エレベーターの設置を働きかけるなど、バリアフリー化の促進に努めてまいります。

から進めている無線設備の更新の中で、通信速度の向上や映像の高画質化、悪天候時の安定した通信の確保など、一層の機能強化を図ることとしています。今後も、防災行政無線の確実な運用とともに、機器やシステムの更新を着実に進め、災害時の県・市町村間の情報通信の確保に取り組んでまいります。

伊藤議員 高画質化した映像を市町村と共有すべきと思うかどうか。

生稲防災危機管理部長 災害対応を行う上で、現場の状況を映像により視覚的に把握できるということは非常に重要であると考えております。再整備により、高画質な映像の送信が可能となりますので、市町村とその画像を共有して、迅速・的確な災害対応に活かしてまいります。

要望 防災行政無線の更新の際には、確実な情報通信手段としての機能強化を図るとともに、強化された機能を有効に活用するよう要望する。

伊藤ひろし県議プロフィール	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>1975年 富山県に生まれる</li> <li>1994年 東海大学付属望洋高校卒業</li> <li>1998年 東海大学政治経済学部卒業</li> <li>薬品販売業に従事</li> <li>2004年 松下政経塾の地域政経塾卒業</li> <li>2007年 習志野市議会議員当選(3期)</li> <li>2019年 千葉県議会議員当選</li> </ul>
現職	<ul style="list-style-type: none"> <li>県議会 総務防災常任委員会副委員長</li> </ul>
資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学・高校教員免許、防災士</li> </ul>

